

ブダペスト西駅



ブダペスト西駅は昔はペストからヴァーチまで走るハンガリー最初の鉄道会社の駅でペシュティ・インドーハーズと言いました。しかし利用する人が多くなってきたので、ハンガリー中央鉄道会社によって、地域と共に購入されました。



当時のブダペストは発達中で、町の姿もどんどん変わっていきました。そして、ペシュティ・インドーハーズも新しい首都の町に合わなくなりました。それで、新しい駅を建てる必要があると決められました。結果、生まれたのが西駅です。

建設作業を引き受けたのはエッフェル塔を建てたグスターヴ・エッフェルでした。建設作業は1877年10月28日に完成しました。現在では、古くさい感じがする鉄構造は19世紀の最新技術をつかったペストの誇りの象徴として当時のニュースにもなりました。

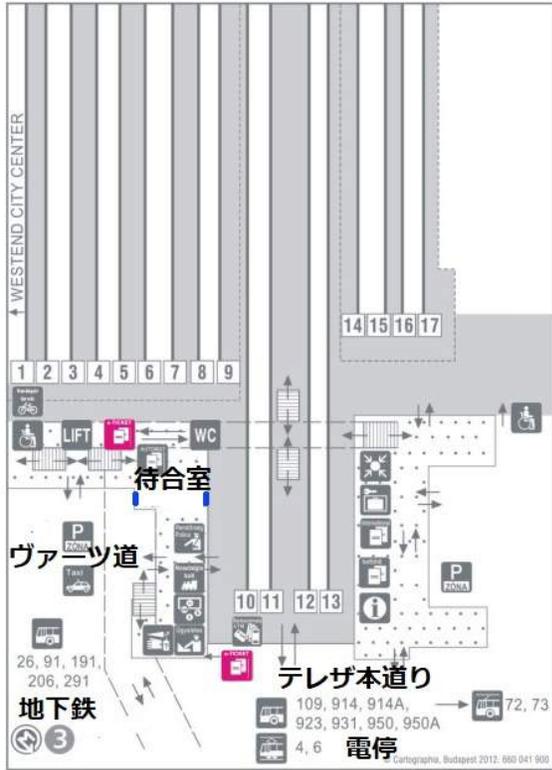
正にこの鉄とガラスのコンビネーションのおかげで西駅はブダペストの人々に愛されていると言えます。今も利用するお客さんが大勢いるので駅ビルは定期的に維持されなければなりません。

1979年ごろ、地下鉄の駅も建てられました。

1999年にWestendと言うプラザもオープンしました。これで駅の周りの地域は19世紀と比べて随分発展しました。



2005年には、官公庁地区になるという計画が提案されましたが、駅がつぶれてしまうという理由で拒否されました。



駅の中は外観と違ってあまり美しく見えませんがハンガリーで最も利用客が多い駅としていつも混んでます。150メートルの長さで17本の線路（ホーム）があります。

雨が降る時は、駅の構造のせいで雨が屋根の通気孔からもれて落ちてくるときもあ

ります。

西駅には17のホームがあります。切符は駅の右側にあるきっぷ売り場や左側にある券売機で買えます。入り口には大きな時刻表があり、食べ物や飲み物を買える店もあります。西駅からは国際列車も出発します。

面白い点



現在、駅では使用されていない特別な待合室もあります。駅が完成された時ハンガリーの国はまだ御国状態のまま、この待合室は皇帝とその家族のためだけの者でした。

西の広場

西の広場とはブダペスト西駅とその周りに広がる、広場のことです。1922年からこの名前が付けられていて、昔から若者が集まるポイントとして有名でした。

最近は無料のWi-Fiにも繋げることができ、人を待っている間でも楽しく時間を過ごすことができます。



西駅のマクドナルド



1989年にハンガリーは民主主義になり、アメリカからマクドナルドも入ってきました。西駅には、隣にあった建物をレストランとして利用していましたが、そこを現在マクドナルドとして利用しています。19世紀の典型的な建築様式が残っていて、今もお客さまを魅了しています。ヨーロッパで二番目に美しいマクドナルドだと言われています。